

2019年度「授業評価アンケート」について

本学では、これまで期末に実施してきたアンケート結果を、回答した学生へのリターンが少ない（授業が終了するため）等の声を受け、15回の講義期間中の7から8回目に中間アンケートを導入し3年が経過しました。教員は、中間アンケートで得た学生の意見や要望をただちに反映させた授業が可能になり、授業評価アンケートの対象を教員が特に課題意識をもっている授業科目に絞ることで、学生の回答負担を軽減し、教員も「授業評価アンケート報告書」作成において、十分な時間をかけて学修成果と関連づけた多面的な検討が可能になるのではないかと期待するところです。

さらに、学生の授業への参加意識の向上も評価できる状況になってきています。教員と学生が同じ目標を見つめ、その目標達成に向かって授業をつくりだしていく一助となれば幸いです。

2017年度から中間アンケートと最終アンケートの導入などの変更がありましたが、教員から良好なご意見が聴かれ、前年度の方式を踏襲し実施に至っておりますが、今年度からFD活動の周知を目的として非常勤講師室に拡大した案内を掲示するとともに、ロゴマークを作成し資料に添付することにしました。

尚、次年度は再評価が必要な時期と考えています。

FD 委員長
榊原 和子

- 別紙 1 学生による「授業評価アンケート」の実施について《前期→後期掲載》
別紙 2 中間アンケート 自由記述用紙
別紙 3 2019年度「授業評価アンケート報告書」（入力フォーム）
《別紙2～3は、後期についても同じ内容・様式であり、前期分だけを掲載》

- 付表 「授業評価アンケート報告書」
2019年度前期
2019年度後期
《保育学科→ライフデザイン総合学科、常勤→非常勤教員の順》



別紙 1

2019 年 4 月 吉日

各 位

四條畷学園短期大学 FD 委員会
副学長・FD 委員長 榊原 和子

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年度も、さらなる授業改善・教育力向上に向け、新方式での授業評価アンケートを実施することになりました。円滑な実施にご協力賜りますようお願い申し上げます。

今年度も昨年同様、「学生の満足度による授業評価ではなく、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする」「中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める」以上 2 点をねらいとしております。

また、アンケート対象とする授業科目は、担当授業から専任教員は 2 科目（2 クラス）、非常勤教員の方には 1 科目（1 クラス）を任意で選択していただきます。今回もアンケート結果だけでなく、中間アンケートや学修成果とも関連づけて、これまで以上に多面的なご検討（「授業評価アンケート報告書」のご作成）をお願いすることになりますので、パイロットスタディとしての選択とご理解いただければ幸いです。

なお、上記「授業評価アンケート報告書」は、本学ホームページでの公開を予定しております。あらかじめご了承ください。

詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

上記、宜しくご理解いただき、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。中間アンケート用紙は、事務室に用意させていただきます。アンケート調査は、携帯電話等を用いたで、何かと進め方等にご心配な先生方もいらっしゃるのではと存じます。ご質問等ございましたら、FD 委員にお問い合わせください。

（保育学科：千田 ライフデザイン総合学科：安谷 事務：南崎）

以上



2019年10月吉日

各位

四條畷学園短期大学 FD 委員会
副学長・FD 委員長 榊原 和子

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年度より、さらなる授業改善・教育力向上に向け、新方式での授業評価アンケートの実施に取り組んでおります。円滑な実施にご協力賜りますようお願い申し上げます。

新方式は、「学生の満足度による授業評価ではなく、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする」「中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める」以上2点をねらいとしております。

また、アンケート対象とする授業科目は、担当授業から専任教員は2科目(2クラス)、非常勤教員の方には1科目(1クラス)を任意で選択していただくこととなります。アンケートは結果だけでなく、中間アンケートや学修成果とも関連づけて、これまで以上に多面的なご検討（「授業評価アンケート報告書」のご作成）をお願いすることになりますので、パイロットスタディとしての選択とご理解いただければ幸いです。

なお、上記「授業評価アンケート報告書」は、本学ホームページでの公開を予定しております。あらかじめご了承ください。

詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

上記、宜しくご理解いただき、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。携帯電話等を用いたアンケート調査で、何かと進め方等にご心配な先生方もいらっしゃるのではと存じます。ご質問等ございましたら、各学科等の委員にお問い合わせください。

(保育学科:千田 ライフデザイン総合学科:安谷 事務:南崎)

以上

授業評価アンケート実施要領

四條畷学園短期大学 FD 委員会

新方式のねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする。
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める。

実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）
 非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の教員が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケート 対象から除外

実施スケジュール(前期)

4/4～	授業1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
5月下旬頃	授業7～8回目迄に	授業評価「中間アンケート」の実施 1. アンケート用紙を教員が配布 （A5サイズ：事務室で必要枚数を受けとる） 2. 学生が回答した用紙を教員が回収 *FD委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、授業改善に活用する
7/5～ 7/18迄	授業14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★1 ・学生はユニパにログイン、回答する ・集計結果の閲覧期間 7/20～8/31 *システム上、学生は結果を閲覧できません
～8/31 ㄨ切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★2 ・教員はユニパにログイン、回答する

★1-2 時期が近づきましたら、改めてご案内差し上げる予定です



2019年10月吉日

授業評価アンケート実施要領

四條畷学園短期大学 FD 委員会

新方式のねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする。
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める。

実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）
非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の教員が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール(後期)

9/17～	授業1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
10月下旬頃	授業7～8回目迄に	授業評価「中間アンケート」の実施 1. アンケート用紙を教員が配布 （B5サイズ：事務室で必要枚数を受けとる） 2. 学生が回答した用紙を教員が回収 *FD委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、授業改善に活用する
12/16～ 1/18迄	授業14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★1 ・学生はユニパにログイン、回答する ・集計結果の閲覧期間 1/20～2/7 *システム上、学生は結果を閲覧できません
～2/29 〆切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★2 ・教員はユニパにログイン、回答する

★1-2 時期が近づきましたら、改めてご案内差し上げる予定です

実施内容(前・後期)

<学生用>

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 3時間以上
 2. 2~3時間
 3. 1~2時間
 4. 30分~1時間
 5. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. A (90~100%)
 2. B (80~89%)
 3. C (70~79%)
 4. D (60~69%)
 5. E (59%以下)

<教員用>

《授業評価アンケート報告書》

(各欄 300字以内)

- 問1 この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。
- 問2 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問3 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい(今後の課題も含む)。

授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

教員用

【授業評価アンケートの閲覧・授業評価アンケート報告書の回答方法】

＜授業評価アンケートの閲覧方法＞

- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「授業関連」⇒「授業評価結果参照」を選択します。

学生が回答した「授業評価アンケート」の結果が表示されます。

科目名	回答者
【短期大学】授業評価アンケート	
2116041 保育者キャリア支援演習B(1・2組) (火・林崎 浩恵 兼 沼谷 静)	26人

- ③科目名をクリックすると、アンケート結果が表示されます。(以下の結果はサンプルです)

授業評価一覧 > 授業評価結果参照 戻る

2116041 保育者キャリア支援演習B(1・2組)

期間: 2016/12/19(月) 00:00~2016/12/23(金) 23:59

対象: 38人 回答: 26人 回答率 68.4%

【短期大学】授業評価アンケート

授業評価アンケートです。
回答をお願ひいたします。

問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。(必須)	比率	人数
そう思う	8%	2人
ややそう思う	73%	19人
あまり思わない	19%	5人
そう思わない	0%	0人
問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫(質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど)がされていましたか。(必須)	比率	人数
そう思う	38%	10人
ややそう思う	54%	14人
あまり思わない	8%	2人
そう思わない	0%	0人
問3 この授業の予習・復習および課題に当たった時間は、1週間でのどのくらいですか。(必須)	比率	人数
3時間以上	4%	1人
2~3時間	4%	1人
1~2時間	0%	0人
30分~1時間	15%	4人
30分未満	77%	20人
問4 この授業の到達目標は、達成できたと思いますか。(必須)	比率	人数
そう思う	8%	2人
ややそう思う	69%	18人
あまり思わない	23%	6人
そう思わない	0%	0人

※自由記載(100文字以内)
表示

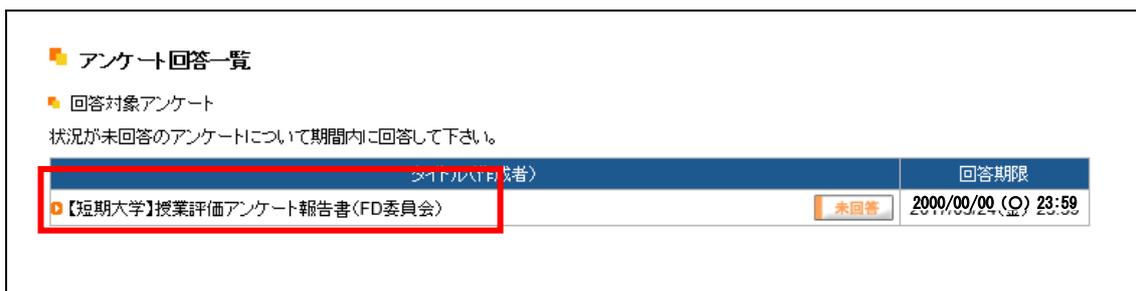
ありがとうございました。

<授業評価アンケート報告書の回答方法>

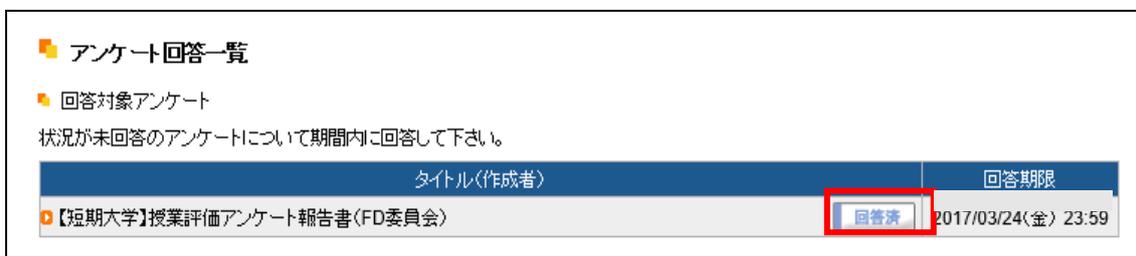
- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「アンケート」⇒「アンケート回答」を選択します。



- ③対象のアンケートをクリックします。
(回答されていない場合は、「未回答」になっています。)



- ④クリックすると、対象のアンケート画面が開きます。(次ページ参照)
- ⑤すべての回答が終了したら、
 - 1 科目のみの先生⇒画面をスクロールし、右下にある「回答」ボタンをクリックしてください。
 - 2 科目の先生⇒引き続き回答してから「回答」ボタンをクリックして下さい。
- ⑥「回答済」に変わっていることを確認してください。



【短期大学】授業評価アンケート報告書

授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。
よろしくお願いたします。

【年度】

【学期】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象と選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

以下、授業評価アンケートを2科目とられた方のみご入力下さい。

【年度】

【学期】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象と選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

ありがとうございました。

回答

2019年度前期「授業評価アンケート」報告書

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	合田 誠	2133212	社会福祉 (4・5・6組)	担当科目の中では、資格取得のための必修科目であると同時に、今年度よりスタートした「新カリキュラム」では「卒業必修」として位置付けられたため選択した。さらには、保育士資格の基本原則となる科目であるため、授業を通じて学生の受ける印象を確認したいため選択した。	中間アンケートでは良い点として、「分かりやすい授業。」や「体験談を聞けて勉強になる。」、「社会で役立つ知識を得られる。」等々の意見が多々あった。反面、改善点では「書く量が多い。」や「黒板の字が時々小さくなる。」、「プリント形式にしてほしい。」などの意見をもらった。書く分量が多いと学生は感じている様だが、それ程多く書いてもらっているわけではない。しかしながら、現在の授業方法の主流であるパワーポイントを使った授業になれている学生は、配られたプリントに書き込むだけを多く体験しているため、改めて最初から書き続けることに慣れていないためと思われる。アンケートの翌週には、指摘のあった改善点に対してひとつひとつ返答した。	授業の工夫については、9割以上の学生が、賛同してくれている。ただし、予習・復習については、逆に8割以上の学生が1週間で1時間未満を選択している。より多くの予習・復習に時間を割いてもらえるのが理想であるものの、実態としては、必修科目が数多く設置されているため、1週間で1時間未満も致し方ない面も考えられる。成績は1年生全体で「秀」が17名(20.5%)、「優」が23名(27.7%)、「良」が19名(22.9%)、「可」が12名(14.5%)、「不可」が12名(14.5%)の内訳であった。数値的には例年通りであり、高得点をとれる学生とそうでない学生の格差がやはり存在する。到達目標については、7割の学生がほぼ到達できたとしている。今後の課題は例年と同様にはなるが、習熟度の違いが明白であるため、授業レベルの基準を調整しながら授業を展開していきたい。
保	鍛治谷 静	2131372	幼児臨床心理学 (3・4組)	比較対照のため。	板書の量が多い、グループワークをしてほしいとの改善点があった。一方向からの授業になりがちなのは確かなので、コメントペーパーや小テストなどで学生の理解度をみる工夫をした。グループワークも試みた。	実際の成績よりも学生の自己評価の方が高い。(回答率が低いので回答した学生に偏りがあるのかもしれない)理解が不十分な学生に対しては問いかけ、フィードバックのやりとりを増やすなどさらに工夫を重ねる必要があったと思う。
		2131373	幼児臨床心理学 (5・6組)	出席率が高く活気のあるクラスであるが、真面目な学生と脱線しがちな学生の混在がしばしば授業の進行を妨げることがあり学生の理解にどのような影響を及ぼすか気にかかっていたため。	教員の印象とは反対に「静かな授業」「落ち着ける」「説明が分かりやすい」とのコメントが多く、改善を求める点は「板書が多い」であった。	分かりやすい授業は学生から考える機会をうばう側面もあり、それが成績にも表れているように思われた。学生がすぐに納得できないような、ひっかかるような問題提起、そこから始まる思考の過程を援助する授業展開が必要だった。今後の課題としたい。
保	香月 欣浩	2137091	幼児と図工 I	全クラスで実施した。	導入、発話、内容等の評価が高かったため、そのまま継続できるように心がけた。	改善していたかの問いに何人が「そう思わない」とあったのが気になるが、概ね高評価なので、今後も学生の様子を見ながら軌道修正していきたいと考えている。
		2137092	幼児と図工 I	全教科で実施した。	改善していたかの問いも何人が「そう思う」という評価が多かったため安心した。できるだけ、表現することへの抵抗をなくすために、説明、言葉かけ、感想プリントへの返事を丁寧に書くように心がけた。	授業者としての評価と、学生本人の到達度評価がほぼ一致していたので安心した。今後も引き続き、学生の様子を見ながら、対応していきたいと考える。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	金川朋子	211031	日本国憲法と人権	担任クラスを含むクラスを選んだ。	明確な要望はなかった。授業内での「学生の発言回数を減らしてほしい」という要望については、学生参加型の授業を目指していること点については、授業の初めに説明をしている。「マイクを回すのが嫌だ」「発言するのが嫌だ」という意見についても、自分の意見をまとめた発現することの大切さは、授業内においても、伝えているが、やはり学生にとっては、負担感があるのだと再認している。質問の方法等を工夫していきたいと思う。	シラバス達成状況は、おおむね良好と考える。授業名「日本国憲法と人権」から、とっつきにくいイメージを持つ学生も多く、生活に根付いた事例や子どもの人権に関する内容を、学生が興味を持ち、さらに理解を深められるように今後も工夫していきたい。
		2133062	特別支援教育総論 I	担任クラスを含むクラスを選んだ。	「スピードが早い」という意見が2人あった。授業内容が多くなってしまいうこともあり、授業の学生の様子を見ながら、進行するように努めた。また、授業内容の精選を行い、シラバス進行と調整しつつ、学生の負担のないように行った。	シラバスの達成状況は、おおむね良好と考える。特別支援教育総論で取り扱う、配慮を要する子どもとの触れ合う経験が少ない学生も多く、事例を含め、イメージを持ち、理解しやすいように努めたいと思う。また、学生が実習経験と関連させながら、演習授業であるので、実践力を習得できるように、授業を工夫していきたい。
保	千田耕太郎	2137052	幼児と音楽 I (3・4組)	音楽研究室が担当する授業で唯一1年生全員が履修し、一番多くの非常勤講師が担当することから。また、学生の本音、到達目標の達成に対する自己評価、時間外学習にける時間の実態を一番知りたい科目だから。	中間アンケートの結果を担当教員全員が閲覧し、学生が感じている問題点を共有した。	学生の到達目標達成度と実際の最終評価の分布を見比べてみると、学生の自己評価の方が実際の評価より若干高めではあるが、ほぼ客観的に自己評価ができています。時間外学習に充てた時間は、同一科目の他クラスと比べると一番多かったです。しかし、初心者が現場で使えるピアノをマスターするためには毎日最低でも30分はピアノに向かってほしいところである。学生に時間外の練習がとて大事なことをもっと啓蒙していきたい。
保	千田耕太郎	2137053	幼児と音楽 I (5・6組)	音楽研究室が担当する授業で唯一1年生全員が履修し、一番多くの非常勤講師が担当することから。また、学生の本音、到達目標の達成に対する自己評価、時間外学習にける時間の実態を一番知りたい科目だから。	中間アンケートの結果を担当教員全員が閲覧し、学生が感じている問題点を共有した。	学生の到達目標達成度と実際の最終評価の分布を見比べてみると、客観的に自己評価ができています(学生の自己評価と実際の評価の分布がほぼ一致している)ように見えます。初心者が現場で使えるピアノをマスターするためには毎日最低でも30分はピアノに向かってほしいところですが、時間外学習にかけた時間の実態は、残念ながらそれには及んでいない。学生に時間外の練習がとて大事なことをもっと啓蒙していきたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	長谷 秀揮	2137032	幼児と環境 (4・5・6組)	この授業は、前期の担当科目の中で、授業準備や参考資料等の作成に時間をかけ、そして力を入れている授業科目であるので、教員として学生の評価をぜひ知りたくと考え対象に選びました。	授業で毎回写しているパワーポイントについて、少し次に進めるスピードが速いという意見が若干あったので、要点をノートする為の時間を長めにし、より確実に書き留めることが出来るように改善・工夫しました。	回答から見て全体の約6割弱の学生が到達目標をよく達成することが出来ていて、そして約3割の学生もほぼ到達目標を達成することが出来ていると考えられます。そのような達成状況のなかですが授業の改善・工夫が一層必要と考えています。
		2137031	幼児と環境 (1・2・3組)	この幼児と環境の授業は前期の担当授業科目の中で、とりわけ授業準備や参考資料等の作成などに時間をかけて力を入れている授業科目であるので、学生の評価をぜひ知りたくと考え対象に選びました。	身近な草花や昆虫、また小動物の視聴覚教材の活用が「分かりやすく参考になる」等の意見が多くありました。それを受けて、さらに分かりやすく理解しやすいDVD等の教材研究に取り組み、工夫・改善に努めました。	回答から見て全体の5割超の学生が、よく到達目標を達成することが出来ていて、そして同じく4割の学生が、ほぼ到達目標を達成することが出来ていると考えられます。クラスによって達成状況のバラツキが少なからず出ている結果になっているので、その点については今後の課題として、授業の工夫・改善が必要であると捉えています。
保	林崎治恵	2115023	日本語表現 (スタディスキル含む)	本科目が主な科目であるため。また平均的なクラスであると考えられるため選んだ。	前半と後半では学修する主な内容が異なるため中間アンケートを受けての授業改善・工夫といったところまでは行えていないが、ゆっくり進行することを心がけた。	アンケート結果と学生の成績から見たシラバスの到達目標の達成状況の傾向は似ているが、学生の到達度の自己評価がやや上回る結果となっている。いくつかの到達目標が平均的に成績に反映されるわけではないため、このような結果となったと考えられる。文章を読む・書く・まとめる、話しを聞いてメモをとる、考えるなどを苦手とする学生が比較的多く、また扱う内容も多岐にわたる傾向にあり、授業内容としては不完全燃焼のようになったきらいがある。学修方法の工夫をしていきたい。
保	山田秀江	2136571	教育実習指導Ⅱ	本授業の学生の評価を知り、教育実習の事前事後指導として学生に有効であるか確認し、授業改善に役立てるため。(教育実習指導Ⅱのアンケートであるが、教育実習Ⅱと間違えて回答している学生がいる。両方合わせると41名(85%)の回答率となる。)	中間アンケートでは特に要望はなかった。実践的な内容が役立つと回答している学生が多かった。そこで、より実践的で主体的対話的な学びに繋がるよう、グループでの設定保育研究や模擬保育の教室確保、反省会を学生主体で進行できるよう、シナリオをこちらで作成するなどの工夫をした。	アンケートの到達度の自己評価ではほぼ8割の学生がB以上の評価を出している。成績も大方の学生が良以上の成績となり、到達目標を達成できたと推察される。今後は、授業内容の理解が低い学生に対して個別に対応するの必要を感じている。
保			幼児と言葉	初めて担当する科目で、授業内容の理解や授業の進め方など学生がどのように感じ授業評価をしているか知り、授業改善を行うため。	中間アンケートでは、配布プリントの文字が小さくて見えにくいという意見が多数あったため、文字を大きくし、見やすいプリントにする工夫をした。	アンケートの到達度の自己評価と成績を見て、授業の到達目標の達成度が高いとは言えない。今後は、学生が授業内容の面白さを実感し、主体的に学び、達成度が上がるような授業の工夫を行いたい。今年度の反省を元に次年度は学生が興味を持って聞けるような具体的事例や視聴覚機器を活用した授業にしていきたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	吉井珠代	2230211	公衆衛生学	まず、今年度に初めて担当する科目であったので、授業が受講生にどのように受け入れられたかを知るため。また、私自身がライフデザイン総合学科での授業を担当するのが初めてであったため、自由選択・履修する受講生に当該授業の狙いがどのように届いたかを把握することであった。	中間アンケートで得られた要望を考慮して、視聴覚教材の見易さを改善すべく席替えを行った。その後、この席替えで、焦点が合わず見づらさを経験している学生がいることが判明したため、後半は、補助プリントを配布するなど、受講生に配慮した。	アンケート回答は、当日の出席者全員から得られた(94.3%)。当該科目は、学ぶ範囲が広いため、各項目を日常生活に結び付けて理解できるよう、エピソードを交えて説明したつもりであるが、問2「積極的な授業参加を促すための工夫」において、33%の学生が“あまり思わない、思わない”と答えており、それを反映して、「到達目標の達成度」が、A:27%、B:42%、C:18%、D:9%、E:3%という結果に終わり、さらなる授業改善の必要性を認識した。
ラ		2133031	乳児保育	当該科目は、担当2年目であり、昨年度の授業アンケートを参考に、授業内容の改善に努めたので、それが今年の受講生にどのように受け入れられているかを把握するため、今回の対象とした。	当該科目は、今年度は、授業開始時に小テストを実施しており、それに対する要望が数人からあった(実施方法や設題の出し方)が、努めて改善したところスムーズに実施できた。	問2「積極的な授業参加を促すための工夫」において、33%の学生が“そう思う”と答え、55%が“ややそう思う”と答えていることから受講生の満足度は高いと判断できた。しかし、問4「到達目標の達成度」は、A:24%、B:42%、C:21%、D:3%、E:9%という結果となり、前述内容と一致せず考えさせられた。通年科目なので、小テストの内容などを改善してみたい。
保	榎原和子	2132042	子供の保健Ⅱ(3・4組)	3クラス中で受講生が36名と多く、的確な意見が聴けると思った、また、授業中も積極的に演習に参加し、発言も多く見られ元気の良いクラスだったため。	授業中の「配布資料が見にくい」という意見が若干あり、資料の余白を多くするように心がけた。また、板書の字を丁寧に書くように心がけたが、説明が早くなってしまいうきらいがあり、今後留意すべき点と言える。	シラバスはほぼ達成できたと思われる。しかし、3クラスの成績結果から判断すると、「この授業の予習・復習等に費やした時間」が30分未満が59%、30分から1時間未満が23%となっており、多くの学生が主体的にかかわる学習課題を増やしてゆかなければならないと考える。
保	中川 玲子	2132131	子どもの食と栄養	保育士資格取得のための必修授業で、食育に必要な知識を確実に習得させたいと考えているが、90分2コマ続きと1回の授業時間が長いこともあり、学生のモチベーションの維持に苦慮している。この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由は、学生の意見を知り、要望を取り入れた授業改善を行い、その効果や学生の受け止め方を知りたいと思ったからである。また、受講人数が多いので、学生の授業に対する意見や感想、要望を知るには、アンケートが有効と考えたから。	・複数見られた意見「授業の進め方が早い。」に対しては、ただ単に授業の進行スピードを遅くするのではなく、常に学生の学びの状況を目で見て、時には声をかけて対話をしながら確認し、授業を進めるよう改善した。・「プリントの書き込み箇所が多い。」に対しては、プリントの書き込み箇所を見直して減らすとともに、資料を配布して解説を行ったり、資料プリントを元に質問事項への記述を課題としたり、学生が自ら学びやすい方法を取り入れるなど、改善を行った。	70%以上目標を達成できた学生が77%、80%以上目標を達成できた学生が約半数(46%)であった。この結果から、今回の授業改善への取り組みは、学生の評価以上に実際の改善効果が高かったといえる。しかし、この授業を担当してきたこれまでの経験から、学生の状況は受講クラスごとに異なるので、それぞれに合わせた改善の取り組みが課題であると考え。今後も、学習目標到達度を維持できるよう中間アンケートの分析による授業改善に継続して取り組みたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	須河内優子	2131031	保育原理	大半の学生はしっかり授業内容に耳を傾けていたが、数名居眠りをしている学生がいたため。また、もう一方のクラスの学生より、授業を受けているときの反応が若干薄いと感じたため。	ホワイトボードの字が読みづらいとの指摘を受け、なるべく大きく、丁寧に書くよう心掛けた。また、きちんと理解できているかをその都度問いかけながら板書するようにした。また、早口で聞き取りにくいとの指摘を受けたので、ゆっくり丁寧に話すように心掛け、こちらに関しても、その都度理解ができているか、確認しながら授業を進めていった。	私の説明不足やスムーズに授業を進行できなかったところも、学生自身が指摘してくれ、授業と一緒に作っているような雰囲気があったため、毎回の授業のねらいも確認しながら進めていくことができ、ある程度の到達目標は達成できたのではないと思う。しかし、家庭での予習・復習を課すことが少なかったため、課題内容の見直しなどを行うことで、学生が持っている能力をもっと引き出したのではないかと反省した。
保	多田 知正	2110171	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当授業であるため。	内容について難しいと感じている学生がいるようだったので当初予定から一部内容を変更し、わかりやすくなるように工夫した。	課題に対して真面目に取り組んだ大半の学生については、到達目標を概ね達成できたと考えている。
保	樋口 奈生	2133081	乳児保育 I	特に理由はございません。乳児保育 I はニクラスですので、授業後半でアンケートをしました。	・黒板の字が小さいなどの意見から 配布資料や教室環境を見直し学生が見やすい授業に工夫改善しています。・具体的事例が学生の理解につながっているの で 事例をまじえながら、保育の理解を深めるよう更に工夫しました。	・小テスト レポートで基準に達していない学生に対し、毎時間 課題として確認が必要。・事例紹介でより具体的に学習が深まり 最終レポートにもつなげられていた。
保	堀口節子	2141011	カウンセリング 概論	回答人数が多かったから。	「授業中、一部の学生がうるさくて集中できない」「一方的な授業はたいくつ」等の意見・感想があったので、私語や雑談をしている学生への注意や指導をこまめに行った。そして、講義だけでなく、グループワーク等の体験学習を増やした。	中間アンケートで出された「学生の意見・要望に対する取り組み」に対しての学生の回答が、「そう思う」と「そう思わない」が半々であった。半数の学生には改善の実感があったようである。今後みんなが集中して参加できるような授業作りを工夫して行きたい。
保	川松智子	2110161	子ども文化Ⅱ (腹話術)		楽しく将来に役立ち、丁寧にわかりやすく、恥ずかしくてもちゃんと聞いてくれるし、自作パペットも愛着がわく、そして何よりも楽しい・・・という中間アンケートの回答をいただきました。私自身も、どんどん成長していく生徒さんたちを見るのが毎回楽しみでした。そして、意欲的に授業に取り組んでいかれる姿が嬉しくて授業を進めていきました。	おおむね 到達目標を達成できたと思います。北条保育所への公演も生徒さんたちの大きな成長と転機になったことと思います。今後の課題としては、私自身が意欲をもって 熱い授業をすることです。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	太田 早苗	2133231	相談援助 (1組・2組)	グループワークの発言が非常に活発で、演習科目である授業の意図を十分に把握しているから。	演習での話し合いを負担に感じる学生のため、グループワークではなく、ペアワークを導入したり、個人の意見を尊重して、個々にホワイトボードに意見を書いて発表させるなどの変化を持たせた。また、期末のレポート課題を心配する声も多かったため、課題の題意を詳細に説明し、構成については時間をかけて個別検討させた。文章作法や誤字などは学生相互のチェックを取り入れるなどして、自信をもって課題に取り組むことができるように準備した。書き込み用テキストを中心にし、毎回、正答の確認をしながら、知識を見える化して授業を進めていった。	演習では共感性が高い学生が多いことから、問題解決に向けてグループワークが十分に機能して、経験を体感できていたため、到達目標は十分に達成されている。レポート課題も知識技術に関するまとめの部分は授業内での復習もあり定着が見られたが、自己内省や自己洞察といった個人内での意識の深まりは不十分な部分である。この科目で身につけることができる知識技術が、実際の現場でどのように役立つかという想像力を働かせることが難しいという学生の理解を深めることができなかつたため、授業に集中することができずにいる学生がいて残念である。
保	小川健二郎	2133341	社会的養護内容		中間アンケートの結果をうけて、少数意見や改善点も含め、アンケート結果を授業の中で開示した。その上で、講師の思いや考えも伝えたいうえで、少数意見も大切に扱っていききたいことを伝えている。・眠気をさそうことが多いようで、配布プリントに書き込めるようにして欲しいという声をいただいたので、アンケート後の配布資料は穴埋めを増やした。・学生との距離感が近い。なれなれしいのではないかという声もいただいた。講師としては、近い距離で参加型で共に授業を創っていききたい思いをもっていることは、最初の授業から伝えていたことであり、その思いは継続したいこと伝えたいうえで、一方で少数とはいえこういった意見が出ることは受け止め、その後は少し距離感が近くなりすぎないような意識も持って講義に当たった。・映像を使用したり、参加型を意識しての授業を行ってきたが、眠気を誘う面も否めなかった。絵本の読み聞かせや、手遊び、ゲーム、小喃なども取り入れて工夫はしている。	15回の授業を通して、映像や参加型で工夫して講義を行ってきた。映像などによっては、眠気を誘う状況にしてしまったことは否めないが、社会的養護の実際を触れる中、提出物、定期試験など後半になるほど、学生自身に気づきや、考え方の幅、奥行きと言ったところに成長が顕著に見られたことには、一定の達成感、満足感を感じている。定期試験では、持ち込み資料に記載されている内容は良い出来であったが、口頭のみで伝えた内容についての解答は、芳しくないものであったため、その辺りが今後の課題である。
保	澁谷みどり	2112013	英語 (英会話A)	全体的にクラスの反応がよさそうだと考えたから。	授業に集中していない生徒もいるせいか、うるさくなりがちな点を相手の気持ちを考えてのことやしてみようと、提案したり、演習をする際も興味のある内容を入れて集中してもらおうようにした。	最低でも半時間程度の学習時間は確保しており、授業での説明も分かりやすくするよう心がけ、内容も基本的なことを中心に行っていることもあり、到達目標の達成感につながったのではないかと考える。今後も、分かりやすい説明をしながら、達成感を付けてもらい、自信をつけてもらえるようにしていくつもりです。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	太田 早苗	2133231	相談援助 (1組・2組)	グループワークの発言が非常に活発で、演習科目である授業の意図を十分に把握しているから。	演習での話し合いを負担に感じる学生のため、グループワークではなく、ペアワークを導入したり、個人の意見を尊重して、個々にホワイトボードに意見を書いて発表させるなどの変化を持たせた。また、期末のレポート課題を心配する声も多かったため、課題の題意を詳細に説明し、構成については時間をかけて個別検討させた。文章作法や誤字などは学生相互のチェックを取り入れるなどして、自信をもって課題に取り組むことができるように準備した。書き込み用テキストを中心にし、毎回、正答の確認をしながら、知識を見える化して授業を進めていった。	演習では共感性が高い学生が多いことから、問題解決に向けてグループワークが十分に機能して、経験を体感できていたため、到達目標は十分に達成されている。レポート課題も知識技術に関するまとめの部分は授業内での復習もあり定着が見られたが、自己内省や自己洞察といった個人内での意識の深まりは不十分な部分である。この科目で身につけることができる知識技術が、実際の現場でどのように役立つかという想像力を働かせることが難しいという学生の理解を深めることができなかつたため、授業に集中することができずにいる学生がいて残念である。
保	小川健二郎	2133341	社会的養護内容		中間アンケートの結果をうけて、少数意見や改善点も含め、アンケート結果を授業の中で開示した。その上で、講師の思いや考えも伝えたいうえで、少数意見も大切に扱っていききたいことを伝えている。・眠気をさそうことが多いようで、配布プリントに書き込めるようにして欲しいという声をいただいたので、アンケート後の配布資料は穴埋めを増やした。・学生との距離感が近い。なれなれしいのではないかという声もいただいた。講師としては、近い距離で参加型で共に授業を創っていききたい思いをもっていることは、最初の授業から伝えていたことであり、その思いは継続したいこと伝えたいうえで、一方で少数とはいえこういった意見が出ることは受け止め、その後は少し距離感が近くなりすぎないような意識も持って講義に当たった。・映像を使用したり、参加型を意識しての授業を行ってきたが、眠気を誘う面も否めなかった。絵本の読み聞かせや、手遊び、ゲーム、小喃なども取り入れて工夫はしている。	15回の授業を通して、映像や参加型で工夫して講義を行ってきた。映像などによっては、眠気を誘う状況にしてしまったことは否めないが、社会的養護の実際を触れる中、提出物、定期試験など後半になるほど、学生自身に気づきや、考え方の幅、奥行きと言ったところに成長が顕著に見られたことには、一定の達成感、満足感を感じている。定期試験では、持ち込み資料に記載されている内容は良い出来であったが、口頭のみで伝えた内容についての解答は、芳しくないものであったため、その辺りが今後の課題である。
保	澁谷みどり	2112013	英語 (英会話A)	全体的にクラスの反応がよさそうだと考えたから。	授業に集中していない生徒もいるせいか、うるさくなりがちな点を相手の気持ちを考えることをしてみようと、提案したり、演習をする際も興味のある内容を入れて集中してもらおうようにした。	最低でも半時間程度の学習時間は確保しており、授業での説明も分かりやすくするよう心がけ、内容も基本的なことを中心に行っていることもあり、到達目標の達成感につながったのではないかと考える。今後も、分かりやすい説明をしながら、達成感を付けてもらい、自信をつけてもらえるようにしていくつもりです。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	林 真千子	2132134	子どもの食と栄養	前期に担当させていただく科目がこのクラスでしたので、今回のアンケート対象と致しました。	2コマ続きの授業で広範囲であるため、授業内容について重要点やポイントとなる所を教えて欲しいという要望がありましたので、授業内でその点に触れるように致しました。	中間アンケートの結果を受けて授業の改善、工夫が見られたかについては、ほとんどの学生から満足度が得られたことを嬉しく思います。しかしながら成績を見ますと、授業の理解度の思わしくない学生も見受けられました。今後の課題と致しまして、学生の更なる理解度向上に努めたく思います。
保	鎔 功	2113012	スポーツ I	特に理由はないが、担当するクラスの中で、一番目にあたるから。	遠いや暑いなど、内容より施設に対する意見が多かったので、そのまま授業を行った。	アンケート結果から見ると、みんな真面目に、また楽しく授業が出来たと思う。学生の実技能力的には、時間が短く、大きくアップしたとは思えないが、満足できると思う。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	工藤真由美	2215024	卒業ゼミ(発展)	唯一の2年生担当科目であり、学びの集大成としての位置づけの科目である。その学びに対してどのような意識で授業に臨み、どのような思いを抱いているかについて知りたかったから。	教室の環境についての意見のみがあった。具体的には教室の温度管理である。暑すぎる、寒すぎるなど。しかし北条学舎の冷房は事務室での管理であるので、授業痛にいちいち中座して変更依頼に行かねばならない。よって改善策として、授業開始までに低めの温度設置をお願いし、授業開始後、一度だけ変更依頼に行くことで、中座の回数を減らす努力をした。	学生の予習復習時間が1時間から3時間と、こちらの狙い通りであった。また授業目標達成度の自己評価も80%~89%がが一番多く、63%の学生がそのように自己評価している。丁度これは成績評価比率とも相関性がある。日頃からルーブリック評価を共有しながら授業を進めてきたのも功を奏したといえる。今後も授業改善に努めていきたい。
		2210203	日本語表現法	1年生の卒業必修科目2クラスのうちの1クラス。もう一つのクラスに比べて反応が大人しいので、学生の声を積極的に聞きたいと思ったために選択した。	教室の温度管理に注意を払った。グループワークが楽しいという多数の意見に応じ、毎時間グループワークに時間を取り、メリハリをつけた。しかし一部には苦手という意見もあるのが、実施時間の長短で工夫し、盛り上がりがないグループには積極的に介入、助言するようにした。	授業の予習復習について1時間前後が多数を占め、漢字学習に関する課題を設定しているので、適切な時間ではないかと思った。しかし目標達成度90%から100%を自己評価で選んだ割合が非常に高く、61%にも上る。実際の試験結果はさほど高くはない。とはいってもの例年よりは成績は良いので、授業の狙いは達成していると考えることができる。今後もグループワークなども多用しながら、学生が楽しみながら力をつける授業を工夫していきたい。
ラ	榎原和子	2230251	解剖生理学	初めて担当する授業科目であり、教本を使用せず、配布資料による授業をすすめたため、学生の理解度や積極性(関心度)を確認したかった。	受講生が43名のため、授業環境(教室と黒板の広さ等)について改善を図った。その結果、授業中の学生間の私語が減り、個々の学生への対応がしやすくなった。また、資料の余白が少なかつたため、工夫を加えた。	学生の「この授業の予習・復習にあてた時間等」のアンケート項目では、30分未満が59%、30分から1時間未満が24%であった。学生は、当初授業が難しいと言っていたが、試験結果では成績優秀者(90点以上)が約20%と体的に学生の努力の成果がみられた。このことから、多くの学生が復習に時間を割いたと考えられる。解剖生理学は、専門用語が多く、自分の体のこととして理解を深めるには、もう少し多くの時間があればと考える。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	伊東めぐみ	2230021	医療事務 I	この科目は医療事務エリアを学ぶ学生が1年前期で必ず履修する科目であり(卒業時に取得する資格の関係上)、そのため履修する学生が多い上に医療事務エリアの学びの基礎となる内容であるため、アンケートを取って学生の意見を聞いてみたいと考えた。	「授業の進むスピードが速い」という意見がいくつかあった。毎年学生から聞く意見のひとつであるが、15回の授業で進まなければならない範囲を全うするためには致し方ない部分もある。毎年様々な点を工夫しているが、今回は例題の数を減らし、一つの問題にかける時間を多めに取るようにした。数をこなして覚えるということもあるが、曖昧にしか理解できない問題を数多くこなすより、数は減っても確実に理解できるほうが基礎力はつくという考え。	到達目標の「診療報酬請求事務における基本的知識と点数算定の技能及びレセプト作成技術を習得する。」を評価するための定期試験では、「良」以上の評価が約50%。つまり、到達目標を達成している学生は約半分ということになる。例年並みの結果ではあるが、目標としては7割程度の学生を「良」以上としたい。次年度の試みとして到達確認を細かくするために、定期試験ではなく、小刻みに授業内テストを行い、評価を積算していく方法に変更を検討中。そのほうがついていけずに置いていかれる学生を減らせるのではないかと。
		2230011	医療事務総論	「医療事務 I」同様、医療事務エリアを学ぶ学生が1年前期で必ず履修する科目であり(卒業時に取得する資格の関係上)、そのため履修する学生が多い上に医療事務エリアの学びの基礎となる内容であるため、アンケートを取って学生の意見を聞いてみたいと考えた。	「書く作業を増やしてほしい。寝てしまうから。」という意見を受けて、レジュメの内容を減らし、ノートやテキストに記載する指示を増やしてみた。確かに、書くためには起きていなければならず、寝る学生は減ったように感じた。ただ、それが学修効果に繋がっているまかどうかはわからない。その日の授業に基づいた問題を授業時間の最後に行っていたが、その時間も増やした。	この授業の到達目標は「医療事務の概要、医療機関の組織、医療保険制度、診療報酬の仕組みについて理解する。保険の種類と患者負担率、保険診療について説明することができるようになる。」であり、これを評価するための定期試験では、「良」以上が80%に達している。評価上多くの学生が到達目標を達成しているといえる。断定はできないが、「書く」作業を増やして、授業を聞いている学生が増加したことが功を奏しているのかもしれない。次年度の授業においては板書させる内容を更に吟味し、単に書かせるのではなく、有意義な「書く」作業となるようにする予定。
ラ	服部文彦	2214012	キャリアデザインB	就職支援対策の内容の含んでいる。また、実習を多く取り入れているので、今後の改善や創意工夫のため。	学生のコミュニケーションの能力の向上のため、協調性、リーダーシップ、積極性等が向上できるように多くの学生との対話を多くして、学生全体で考えて結論にいくように務めた。	そう思う、ややそう思うで全体の72%に達している。今後はさらに全体として90%以上がそう思うようになれるように授業内容を創意工夫して昨年度以上に努力をしていく。
		2214011	キャリアデザインA	就職支援対策の内容の含んでいる。また、実習を多く取り入れているので、今後の改善や創意工夫のため。	学生のコミュニケーションの能力の向上のため、協調性、リーダーシップ、積極性等が向上できるように多くの学生との対話を多くして、学生全体で考えて結論にいくように務めた。	そう思う、ややそう思うで全体の72%に達している。今後はさらに全体として90%以上がそう思うようになれるように授業内容を創意工夫して昨年度以上に努力をしていく。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	安谷元伸	2211501	情報倫理	昨年から継続して授業評価を実施していること。また、パソコンによる論述という演習的内容も含むため、評価を通して授業内容の充実を図りたいことからアンケートの対象といたしました。	改善の希望として「お昼なので眠たくなる」「前のスクリーンがたまに見にくくなる」という2点が寄せられた。眠たくなるについては、活動的内容を適宜設定することで対応した。スクリーンが見にくいという要望については、配色、文字サイズ、教室中央のモニタ表示により対応した。アンケートの結果からは、それらの対応により一定の成果が見られたものと判断できた。	シラバス達成率は、A(90～100%)が5%、B(89%～80)が47%であった。E(59%以下)と回答する学生はいなかったが、D(69～60%)と回答する学生が2名(11%)見られることから、学習内容や課題について再検討し、それがシラバス記載の目的の達成へと接続できるよう授業設定全体で充実を図っていきたい。
		2250241	表計算演習 I (Excel)	昨年から継続して授業評価を実施していること。また、演習として基礎的な内容と比較的難しい実技内容も含むため、評価を通して授業改善を進めていきたいことからアンケートの対象といたしました。	中間アンケートでは、改善要望はなかった。各自のペースに沿った課題解答時間の設定について学生たちが手ごたえを感じていることから、その時間を確保できるよう心掛けた。	シラバス達成率は、A(90～100%)が42%、B(89%～80)が42%で概ね想定通りの達成率であった。ただ、E(59%以下)と回答する学生が1名いたことから、課題設定と難易度について改めて分析し、次年度へとつなげていきたい。
ラ	鶴田美香	2172065	色彩の基礎 I	人数が多く、質問や要望を口にする子と出来ない子の差が大きいため、それぞれの意見を聞くため	アンケートでは特に要望はなかったが、板書の文字がかすれて見えにくいという声があったのでペンを変え、字を大きく書くようにしました。	課題の提出率は悪くなくシラバスの到達はできたと思いますが、講義のなかで生徒の理解が悪いように感じた。課題などの時間に個別に手元で個別に説明などを行う時間ももうけたが、理解があまり進んでいない。今後は授業に意欲をもつてのぞんでもらえるよう実生活での活かし方なども取り入れていく。授業開始時に前回授業の復習や、一つの単元をほりさげる時間をもつようにする。
		2182005	色彩の基礎 I	生徒の声を聴くため。	特に要望はなかったが、講義後の復習ワークの時間にコミュニケーションをとりながらそれぞれが思っていることを聞いてもらった。	真面目でもくもくと取り組むクラスだったため進行はスムーズに進んだ。ワークをすることで理解が進んだように思う。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	倉津三夜子	2242021	アロマセラピー (演習を含む)	このクラスのための担当であるため。	中間アンケートから読み取れる学生からの要望は話しを短く実習の時間を長くして欲しいという事のみであった。プラスの表現では、実習があること。説明がわかりやすい、ということ。これを受けて、改善の工夫としては、講義の要点を簡潔に伝え、実習は行うのに十分な時間を取った。とはいえ、学ぶべき内容は幅広く、時間削減は難しい。中間アンケートのあと、上記のことを学生に伝えるとともに後半は前半に比べて実習時間が若干長いのでその旨も伝え、さらに実習の体験などについて学生とのコミュニケーションを図るようにした。	これまで授業時間内にアンケート回答の時間を取っていたが今回は、休憩時間の前にアンケートに回答するようにと伝えるだけにしたためか回答率が低かった。そのため、アンケート結果を参考にするには出来ない。ただ、レポート試験の回答から考えて、「安全な使い方を習得する」という基本的な目標は到達出来たと言える。今後の課題として、学生がより積極的に授業に臨めるようグループワークや、香りのゲームなどを取り入れる時間のゆとりを持ちたい。
ラ	数藤晶子	2240151	テーブルコーディネート &テーブルマナー	授業終了後、今回の最終評価についてお話をする機会がないので、選択しました。	アンケートに、提出物を受け取ってもらえないことがあるが、なぜかとの質問がありました。個人的な内容ではありませんが、課題や提出物が明らか未完成(空欄や色塗り等できていない)のものは、受け取れないことを全員に周知したいと考え、授業内に回答しました。「皆さんが社会に出た場合、こういうものは、通用しない。」と補足しました。	この授業の到達目標は、講義と実習を行うことにより、知識を身につけるということでした。確かに、最後の一人ずつのテーブルコーディネート実習は、思っていた以上によくできていましたが、授業内で行った評価対象の小テストが、テスト範囲を伝えたにもかかわらず、点数がとれていなくて、最終評価につながらなかったのが残念でした。今後は、その都度授業内で、確実に覚えなくてはいけないことを伝えていく必要があると思います。
ラ	篠原富美子	2234011	調剤請求	単一担当です。	要望は進行速度の調整という一点のみでした。確認したところ、理解できない部分の繰り返しだと判断しましたので、再確認したい箇所の聞き取りを行い、次回授業において再度説明をする時間を取るようにしました。	レポート作成に多くの時価が必要とされ、授業内容もそこに重点をおいていますが、資格試験には学科も含まれます。シラバス到達目標90%とは学科内容が満足出来なかったと考えられます。今後の課題は時間配分を見直し学科についても満足できる講義内容にすることです。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	末福美恵子	2232211	ICDコーディング 実務演習 I	ICD10の勉強にどこまで理解されたのか確認をしたい為。	「先生の言っている意味がわからない。文字が読めない」との声を聞き以下の取り組みをしました。1)配布資料の疾病等にルビを付与した。2)疾病について、理解しやすいように絵柄、写真等を用いて説明した。3)授業中、なるべく一人一人に声をかけるよう心掛けた。4)教科書テキスト等覚えなければならぬところは写し書きを宿題課題とした。5)授業中、小テストを行い習得状況を小テスト等で毎回確認しながら授業を進めた。	全員素晴らしい成績であった。目標通り、進める事が出来た。後期は、難しい弾き方ルールも習得しなければならない。宿題課題は、全員きっちりとしてこられるので、課題提出を求めながら授業を進めていきたい。
		2230041	医療事務Ⅲ (DPC含む)	DPC制度をどこまで習得されたのか確認する為。	「先生の言っている意味がわからない。文字が読めない」との声を聞き以下の取り組みをしました。1)配布資料の疾病等にルビを付与した。2)DPC制度について、理解しやすいように絵柄、写真、その他資料等を用いて説明した。3)授業中、なるべく一人一人に声をかけるよう心掛けた。4)教科書テキスト等覚えなければならぬところは写し書きを宿題課題とした。5)授業中、小テストを行い習得状況を小テスト等で毎回確認しながら授業を進めた。	全員素晴らしい成績であった。勉強が不得意とされる生徒さんも宿題課題提出を始め暗記すべきものもきちんと習得された。シラバスに対して難易度を少し下げ、実社会で困らない内容に変更した。
ラ	叶 雅夫	2273171	子どもの発達と絵画	座学より、生徒とのコミュニケーションを図らなければならないから。	授業の到達目標に近づくため、集中・楽しくを心がけました。	やや到達できたと思う。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	橋尾 晋平	2210311	英語 英会話(A)[い]	前期担当クラスの一つであるため。前期は2クラス担当しておりますが、どちらのクラスでも実施しています。	特に授業運営などに関して改善・工夫した部分はありませぬ。中間アンケートでは特に学生側からの要望はなかったためです。しかしながら、「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。」の質問に対して、「あまり思わない」と答えた学生が7人もいるのは教員側からすれば納得しかねる結果でした。アンケートを実施するからには、誠実に答えていただきたいと存じます。	今年度の当クラスの成績評価は6割以上の学生がS・Aの評価を得ることができています。アンケート回答者の6割以上がシラバスに示されている到達目標を80%以上達成できたと感じています。学生との自己評価と実際の成績がきちんと対応しているのではないかと考えています。また、今年度は前年度まで以上に課題を出したり、定期的な小テストを実施したりするなどして、授業外の学習時間の増加を狙った取り組みを行ってまいりましたが、まだまだ1週間あたりの学習時間が少ないようなので、いかに学習時間を確保してもらうかは引き続き今後の課題かと思われまふ。
		2210313	英語 英会話(A)[ろ]	前期担当クラスの一つであるため。前期は2クラス担当しておりますが、どちらのクラスでも実施しています。	授業や学生に求めることが「厳しい」ということをよくアンケート等で見られるので、より雰囲気よく授業をすることを心がけました。学生たち自身も当方の授業スタイルやキャラクターのようなものをだんだん理解してくれるようになったように思っています。別の感想を書いたもらった際、一部の学生が「この授業では当たり前のことを当たり前にしなければならない」と回答してもらったように、なぜ「厳しい」のかなど理解してくれた学生も多かったように感じました。全員に向けて叱ったり、注意をしたりすることは個人的にもあまり好きではないので、後半の授業運営は総じてよかったとは思いますが、取り組みがよくない学生がさらに悪くなる部分もあり非常に難しく感じました。	アンケート回答者の多くの学生がシラバスに示されている到達目標を80%以上達成できたと感じています。全員がアンケートにきちんと答えたわけではないので、判断が難しいですが、学生の自己評価と実際の成績がきちんと対応しているのではないかと考えています。また、今年度は前年度まで以上に課題を出したり、定期的な小テストを実施したりするなどして、授業外の学習時間の増加を狙った取り組みを行ってまいりましたが、まだまだ1週間あたりの学習時間が少ないようなので、いかに学習時間を確保してもらうかは引き続き今後の課題かと思われまふ。
ラ	中村勝則	2255121	ウェブデザインⅡ	当該学期で担当している唯一の科目であるから。	板書とスクリーンの提示のタイミングと切り替えの速さについて受講者から若干の指摘があった。これに関して改善に向けて意識した。	授業中に実施した課題制作の結果を見ると、授業の目標の達成度は概ね良好だったように思われる。今後は、制作課題に受講生の独自性がもう少し出るように工夫をしたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	橋尾 晋平	2210311	英語 (英会話)A[い]	前期担当クラスの一つであるため。前期は2クラス担当しておりますが、どちらのクラスでも実施しています。	特に授業運営などに関して改善・工夫した部分はありませぬ。中間アンケートでは特に学生側からの要望はなかったためです。しかしながら、「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。」の質問に対して、「あまり思わない」と答えた学生が7人もいるのは教員側からすれば納得しかねる結果でした。アンケートを実施するからには、誠実に答えていただきたいと存じます。	今年度の当クラスの成績評価は6割以上の学生がS・Aの評価を得ることができています。アンケート回答者の6割以上がシラバスに示されている到達目標を80%以上達成できたと感じているようですので、学生の自己評価と実際の成績がきちんと対応しているのではないかと考えています。また、今年度は前年度まで以上に課題を出したり、定期的な小テストを実施したりするなどして、授業外の学習時間の増加を狙った取り組みを行ってまいりましたが、まだまだ1週間あたりの学習時間が少ないようなので、いかに学習時間を確保してもらうかは引き続き今後の課題かと思われまふ。
		2210313	英語 (英会話)A[ろ]	前期担当クラスの一つであるため。前期は2クラス担当しておりますが、どちらのクラスでも実施しています。	授業や学生に求めることが「厳しい」ということをよくアンケート等で見られるので、より雰囲気よく授業をすることを心がけました。学生たち自身も当方の授業スタイルやキャラクターのようなものをだんだん理解してくれるようになったように思っています。別の感想を書いたもらった際、一部の学生が「この授業では当たり前のことを当たり前にしなければならない」と回答してもらったように、なぜ「厳しい」のかなど理解してくれた学生も多かったように感じました。全員に向けて叱ったり、注意をしたりすることは個人的にもあまり好きではないので、後半の授業運営は総じてよかったとは思いますが、取り組みがよくない学生がさらに悪くなる部分もあり非常に難しく感じました。	アンケート回答者の多くの学生がシラバスに示されている到達目標を80%以上達成できたと感じているようです。全員がアンケートにきちんと答えたわけではないので、判断が難しいですが、学生の自己評価と実際の成績がきちんと対応しているのではないかと考えています。また、今年度は前年度まで以上に課題を出したり、定期的な小テストを実施したりするなどして、授業外の学習時間の増加を狙った取り組みを行ってまいりましたが、まだまだ1週間あたりの学習時間が少ないようなので、いかに学習時間を確保してもらうかは引き続き今後の課題かと思われまふ。
ラ	鎔 功	2113012	スポーツ I	特に理由はないが、担当するクラスの中で、一番目にあたるから。	遠いや暑いなど、内容より施設に対する意見が多かったので、そのまま授業を行った。	アンケート結果から見ると、みんな真面目に、また楽しく授業が出来たと思う。学生の実技能力的には、時間が短く、大きくアップしたとは思えないが、満足できると思う。
ラ	中村勝則	2255121	ウェブデザイン II	当該学期で担当している唯一の科目であるから。	板書とスクリーンの提示のタイミングと切り替えの速さについて受講者から若干の指摘があった。これに関して改善に向けて意識した。	授業中に実施した課題制作の結果を見ると、授業の目標の達成度は概ね良好だったように思われる。今後は、制作課題に受講生の独自性がもう少し出るように工夫をしたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	藤堂 隆司	2232311	医療事務 コンピュータ I	この授業は、医療事務職の業務にとって最も欠かすことができない能力を習得する授業の1つです。授業では、診療報酬請求の基礎知識と、正確な入力操作及びスピードが求められるため、他の授業に比べて学生の能力の格差が顕著となり、講師が授業を組み立てていく上で非常に難しい授業とされています。言い換えれば、講師は非常にやりがいがある授業であると言えます。受講したすべての学生が、医事コンを正確にマスターし、確実に実践力が身につけられることを目標とし、この授業を選びました。	この授業の進め方は、個々の学生により入力のスピードや理解度が異なるため、最初に事例の診療内容についてスライドで詳しく説明をし、理解したうえで、みんなと同じペースで入力する方法を取り入れました。その際、一番入力が遅い学生に基準を合わせて進めていくよう心がけました。特に、トラブルを未然に防ぐため、助手の先生が常にラウンドすることで入力状況を確認します。このクラスは、受講生6名と少ないため、授業はスムーズに進められ、中間アンケートにおいても学生からの意見や要望はありませんでした。しかし、他のクラスの一部の学生から、進行するスピードが早いとの要望があったため、後半は、よりゆっくり進めるよう心がけました。	実技試験の結果では、6名の平均点99点と全員がS評価となり、高い成果が得られました。出席率も平均98%と授業への意欲も見られました。到達目標をみると、A:33%、B:50% C:17%となり、実技試験と学生の意識との乖離が若干みられました。今後は、スキルの習得とともに、高い満足度が得られるよう改善していきます。
		2232312	医療事務 コンピュータ I	この授業は、医療事務職の業務にとって最も欠かすことができない能力を習得する授業の1つです。授業では、診療報酬請求の基礎知識と、正確な入力操作及びスピードが求められるため、他の授業に比べて学生の能力の格差が顕著となり、講師が授業を組み立てていく上で非常に難しい授業とされています。言い換えれば講師は、非常にやりがいがある授業であると言えます。受講したすべての学生が、医事コンを正確にマスターし、確実に実践力が身につけられることを目標とし、この授業を選びました。	この授業の進め方は、個々の学生により入力のスピードや理解度が異なるため、最初に事例の診療内容についてスライドで詳しく説明をし、理解したうえで、みんなと同じペースで入力する方法を取り入れました。その際、一番入力が遅い学生に基準を合わせて進めていくよう心がけました。特に、トラブルを未然に防ぐため、助手の先生が常にラウンドすることで入力状況を確認します。このクラスは、受講生13名と多く、入力のスピードにも格差があることから、できる限りゆっくりと進めるように心がけました。中間アンケートでは、一部の学生より進行が早いとの要望があったため、後半では、よりゆっくり進めたことと、助手の先生とともに、その学生に対してより注意を払いました。	実技試験の結果では、13名の平均点94点、10名がS評価、3名がA評価となり、高い成果が得られました。出席率も平均98%と授業への意欲も見られました。到達目標をみると、A:23%、B:69%、D:8%となり、1名の学生において低い回答があり、実技試験と学生の意識に乖離がみられました。おそらく、この学生と思いますが、中間アンケートの改善に対しても「あまり思わない」、授業への工夫に対しても「あまり思わない」と回答するなど、授業の進め方や学生指導に課題が残りました。後期授業では、さらに難易度が高い入院診療の入力となるため、今回の課題について十分に考慮し、すべて学生が、到達目標が達成できるよう改善していきます。

2019年度後期 「授業評価アンケート」報告書

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	合田 誠	2136661	保育実習指導Ⅲ	2年次の実習に関する選択必修科目で、自らが選択しての実習科目であるため。つまり、1年次の保育実習Ⅰは保育所もそれ以外の児童福祉施設も指定園である実習先を授業担当者が決定する方法をとっている。2年次の「保育実習Ⅱ」(保育所)もしくは「保育実習Ⅲ」(保育所以外の児童福祉施設)を学生自らが選択する方法となっているので、この科目を対象に選んだ。	1年次の実習指導とは授業内容は異なり、一人ひとりが問題意識をもてるように、個人発表等を組み入れていたが、例年以上に受講希望者が多く、ゆとりをもっての授業展開がなかなかできなかった点を改善しようと試みた。しかしながら、個々への対応が必要となるため、後半も時間的に厳しく、改善とまでは至っていない。	1年次の実習授業との違いは、15回の授業を通じて浸透したのではないかと感じている。今後は2.にも記述したが、受講希望者が多数の場合は、授業内容の再検討が必要となると考える。最後に15回目の授業で「授業評価アンケート」を実施したが、最終回も時間ギリギリまで発表をしていたため、回答学生が半数にも満たなかった点が残念である。また、その際、学生より携帯会社によっては、スムーズにUNIPAには入れないとの訴えがあったことを付記しておきたい。
保	鍛冶谷 静	2133151	子ども家庭支援の心理学 (1.2.3組)	中間アンケートの実施できる科目がこの科目のみだったため。	一部、授業の妨げになっていると指摘があった私語への注意をさらに強めた。板書が多いとの声もあったが、これについては十分な改善ができなかったかもしれない。	アンケートで授業はわかりやすいとの意見が多く、定期試験も基本的な事項は理解できていたので、おそらく難易度は適切だったのではないかとと思われる。新カリキュラムの科目で試行錯誤的な授業展開もあったのは反省点である。取り上げるトピックを精選し学生自身が考える時間を持てるような展開も考えていきたい。
保	鍛冶谷 静	2133152	子ども家庭支援の心理学 (4.5.6組)	中間アンケートの実施できる科目がこの科目のみだったため。	私語への注意がしばしば必要なクラスで、アンケートにもその指摘があった。改善策としてくじ引きで席替えを行った。授業中の雰囲気は改善されたが、難点は出欠表を一巡させるのに時間がかかることで、授業の展開で工夫するなど再考の余地はあるように思われた。	アンケートで授業はわかりやすいとの意見が多く、定期試験も基本的な事項は理解できていたので、おそらく難易度は適切だったのではないかとと思われる。回答率の低さは授業の残り時間が殆どなくなってしまった中で実施したことが大きいのだと思う。アンケートは学生に負荷をかけることを自覚し実施のタイミング等を考慮しなければならないと思った。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	香月欣浩	2137103	幼児と図工Ⅱ	1年生は全クラスに書いてもらった。	感想文を書く時間の確保をしようにした。	中間アンケートに書いてあった感想文を書く時間の確保するように心がけた。学生が積極的に劣等感を持つことなく、造形表現活動ができるよう取り組んできた。学生の目標の達成状況もABが90%以上であったので安心している。次年度も継続して学生の状況に合わせ、未来の保育者になれるよう指導をしていきたいと思います。
保	香月欣浩	213701	幼児と図工Ⅱ	1年生は全クラスに書いてもらった。	感想文を書く時間の確保をしようにした。	中間アンケートには不満や要望はなく、1, 2人が「感想文を書く時間の確保をしてほしい」と書いていた。その点は改善したにもかかわらず、問1の結果が芳しくなかった。また到達目標の達成度でAの人数が他のクラスより低いのも気になった。理由に心当たりはないが、次年度はさらに配慮して授業に取り組んでいきたい。
保	千田耕太郎	2122021	音楽Ⅱ	音楽の授業の中で2年生が一番多く履修している科目だから。(森講師と分担し、森講師は1年生の幼児と音楽Ⅱ、千田は2年生の音楽Ⅱを受け持った。2122021～2122023の3クラスの結果を見て総合的に回答した。)	複数人で担当する科目なので、中間アンケートの結果を担当者全員で共有し、特に気になった意見要望は取り上げて全員で確認した。	シラバスの到達目標と実際の成績、学生の自己評価は相関していた。ピアノ実技を含む授業内容なので、予習復習に毎日30分は時間を割いてほしいのだが、十分に練習時間を確保している学生がまだまだ少ないと感じる。今後の課題である。
保	金川朋子	2133072	特別支援教育総論Ⅱ	担当クラスを含んでいること 及び 最終クラスの授業であること	パワーポイントの提示方法 重要ポイントや学生がプリントに書き込む用語について、色を変えたり、下線を引き、分かりやすくした。グループワークを苦手とする学生に対して、話し合いのポイントや意義を確認して行った。また、全体への発表も苦手とすることが多いので、小グループで発表しあい、その機会を発表練習と捉え、そののちに、全体への発表を行う手順をふんだ。	しっかりと、学習に取り組んできていたことを感じる。回答が少数のため、すべてとは言いがたいが、まじめに取り組んでいた。後期は、提出プリントの回数が前期に比べると回数が少なかった。書くことにより学びの整理を行う機会を、前期並みに実施する方向で検討する。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	長谷 秀揮	2136651	保育実習指導Ⅱ	この授業はパワーポイントや参考資料の作成などの準備に時間をかけていて、また教員として特に力を入れている科目であるので、ぜひ学生の意見や評価等を知りたいと考えて対象に選びました。	学生からの声、要望として授業を進めるスピードが少し早い、との記述がアンケートに複数ありました。そのため、対応及び配慮として授業進行のスピードを緩めました。	シラバスの到達目標の達成状況については、アンケートの結果から一部の学生を除いてほぼ達成出来ているのではないかと考えられます。反面、十分に達成できていない学生も若干名いるので、授業の工夫、改善をさらに図っていくようにしたいと思います。
保	森 麻希子	2137061	幼児と音楽Ⅱ	この科目は保育学科1年生が全員履修し、資格取得に必要な科目である。ピアノの個人レッスンと声楽を行う授業の性質上、複数人の教員が受け持つこともあり、幼児と音楽Ⅱの3クラス全てに授業評価アンケートを行った。	中間アンケートの意見、感想は概ね良好なものであった。主な感想は次の通りである。ピアノの個人レッスンでは基礎から丁寧に指導を受けられる。マンツーマンで色々相談できるから距離が近い感じがする。色々な童謡を学べるので、現場で役に立つ。改善してほしい点としてあげられた意見は以下の通りである。声楽よりもピアノの時間を増やして欲しい声楽(集団レッスン)がその時によって人数のばらつきがある私語を注意してほしい人数の偏りについては、授業欠席者が複数人でたために起こったものと考えられる。情報を共有し、人数の偏りや私語への指導については改善を図った。時間配分についてはカリキュラムにも関わることであり、現在声楽とピアノは45分ずつ時間を設けている。保育者を目指すものにとってどちらも必要な保育技術であることから、時間配分については適正であると考えられる。	実技科目であるため日頃の予習、復習にかけた時間が到達目標の達成に密接な関わりを持っている。練習室の貸し出しや、課題に関する質問の対応と指導については十分な環境を整えているが、ピアノは難しいという先入観も少なからずあるため、主体的に学ぼうと思えるモチベーションをいかに維持するかが課題である。
保	中川 玲子	2132132	子どもの食と栄養	①保育士資格取得の必修授業であり、保育士として仕事をするうえで重要な内容を多く学ぶ授業であり、少しでも理解度を高め、重要事項については知識の定着を図りたいと思ったから。②授業は毎回90分×2コマ×15回(5回の実習を含む)時間が長く、集中力を持続させるためや、到達目標に達する学びを実現するために工夫が必要であり、学生の要望や意見を参考にしたいと考えたから。	授業の進行速度を、学生の進度に合わせて。ノートに記述する箇所を厳選するとともに、必要に応じて宿題を課した。(多すぎる場合には、参考資料としてスライドのコピーを配布し、教科書を活用しながら、解説を加えた)	学生の意見、要望を取り入れたと7割弱の学生から評価された。予習、復習、課題に要した時間は2~3時間と答えた学生が最も多く、2時間以上と2時間未満が同数であり、期待よりは、やや少ないと感じた。シラバスに示した到達目標への達成度はアンケートの回答では80~89%が最も多く、達成度80%以上と答えた学生が57%であった。成績に見る実際の達成状況は、このアンケート結果にみる各自の達成度評価を、約1割下回っていた。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	山田秀江	2136551	教育実習指導 I	(学生が教育実習指導 I と教育実習 I を勘違いして回答したと思われますので、そちらも合わせたアンケート結果から報告します) 教育実習 I の事前指導であり、学生が主体的に学べる環境をどのように作っていくのかを学生の要望から考え、改善していきたいと考えたからです。また、金曜日の5時間目という一週間の最後の授業で、学生が疲れている中でも楽しんで学べるよう改善していきたいと考えたからです。	中間アンケートではあまり改善してほしい点が出なかったのですが、グループワークを取り入れていたので、切り替えができず、少し騒がしかったり、授業ルールが守れなかったりすることがありました。しかし、改善があったと回答している学生が8割近くおり、集中して学べる環境を作れるよう努力したことが、良かったようです。しかし、2割強の学生はあまりそう思っていないということなので、より工夫し改善していく必要があります。	学生は全体的により成績を修めており、シラバスの到達目標の達成状況も高いです。しかし、授業に集中できなかったり、課題などが提出できなかったりして、到達目標を達成できていない学生もおり、全員のモチベーションを上げて、実習が楽しくなるような事前指導を工夫する必要があると思います。
保	山田秀江	2137021	幼児と人間関係	今年度新しく始まった授業科目で、内容的にも初めて担当するものでした。学生の要望を聞き、真摯に改善していきたいと考えました。	中間アンケートでは、配布プリントや進行速度などの改善を求める声がありました。そこで、できるだけ記入しやすいプリントをつくったり、授業速度を確認しながら進めたりすることで、改善できていたようです。ただ、授業外の学習時間が少ない学生が6割程度おり、予習復習を充実させ、授業の理解度が深まるように考えていきたいと思っています。	成績にはばらつきがあり、到達目標の達成度も差が大きくなりました。学生の理解を深め、達成度を高めるために、授業内容の焦点をしぼり、理論を実践に結び付け、理解しやすいように工夫し改善していきたいと思っています。
保	吉井珠代	2133031	乳児保育	当該科目は通年科目であり、特に当該クラスには前期の授業評価アンケートにも回答を得ていたため、比較検討する意味においても今回の対象科目とした。	当該科目は演習科目であるが、学生たちには特に、赤ちゃんモデルを使用した“実技演習”が好評で、実施の希望も多かったため、回数多く実施するよう対応した。また、授業回数の後半には席替えを実施して、授業環境の不公平の解消にも努めた。	前期の同一科目同一クラスの回答と今回の回答を比較してみると、問1、「そう思う」の回答が12ポイント上昇して42%、「ややそう思う」の回答も15ポイント上昇して46%となり、合計88%の学生が、私の後期の授業改善を感じてくれていた。問2の“学生の参加を促すための工夫”では、「そう思う」が46%、「ややそう思う」が50%と回答し、合計96%（ほぼ全員の学生）が、高く評価してくれていた。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	吉井珠代	2133033	乳児保育	当該科目は演習科目で、同じ授業内容を3クラスに実施しているが、クラスにより学生の反応が異なるため、他のクラスの回答結果と比較検討する目的で、今回のアンケート対象授業とした。	まず、授業回数の後半には席替えを実施して、授業環境の不公平の解消に努めた。また、中間アンケートでは、赤ちゃんモデルを使用した“実技演習”が好評で、実施の希望も多かった。したがって、遊びのグループ発表においても、赤ちゃんモデルを使用して実施できるよう工夫した。	対象クラスの回答は、問1に対して、「そう思う」の回答が42%、「ややそう思う」の回答も50%であり、合計92%の学生が中間アンケート実施以降の授業改善を感じてくれていた。問2の“学生の参加を促すための工夫”では、「そう思う」が46%、「ややそう思う」が46%と回答し、合計92%の学生が、高く評価してくれていた。前述した、保育学科2年、1、2クラスの回答結果とほぼ同様の結果が得られ、授業運営において概ね到達目標は達成できたと考える。
保	鎔 功	2113023	スポーツⅡ	特になし	前半は実技、後半は座学なので、アンケート後の改善工夫はなかった。	学生の、実技と座学との、授業を受ける態度が違い、もう少しやる気を見せてほしい。
保	堀口節子	2136313	教育相談	1教科のみの担当。3クラスの中で回答率が高かったから。	中間アンケートで「筆記する量が多い」「講義だけなのでつまらない」等の回答があったので、筆記する内容のポイントを絞った。また、事例を中心に学生自身が考え、回答する問題を複数入れたり、自分自身を振り返るワークを取り入れたりと等の改善をした。	8割以上の学生が、7割以上の達成できていると回答をしている。他のクラスも同じような回答になっているが、達成度の評価が高いクラスの方が成績が良い傾向にあった。
保	樋口奈生		乳児保育Ⅱ	前期の乳児保育Ⅰと同じクラスにお願いしました。	事例紹介や実践を多く授業内に取り入れました。	課題に取り組む 家庭学習時間の学生の差が大きく 成績にも大きく影響していた。小テスト 振り返りの時間を増やし 授業の改善をしていく。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	澁谷みどり	2112022	英語(英会話B)	全体的にクラスがまとまっていると考えたため。	楽しく学べるように工夫している点は効果が発揮できているようである。考える時間を多めにとり無理のないスピードで授業を進めることで、質問がしやすい雰囲気になっているのが良いようである。	学生の学習時間が最低でも半時間程度は確保しており、少なくとも勉強をする習慣にはつながるか考える。内容も基本的なことを中心に行っていることもあり、到達目標の達成感につながったのではないかと考える。今後も、分かりやすい説明をしながら、達成感を付けてもらい、自信をつけてもらえるようにしていくつもりです。
保	中尾智子		社会的養護 I	欠席する学生が少なくどれくらい理解してくれているか、自分自身の授業の進め方が良いものかを分かりたかった。	学生からの要望で、資料や授業の大切なところをアンダーラインや色を変えて欲しいとあったので授業の中でパワーポイントを見て説明した。授業中に集中できなくて私語がうるさいと人がいるので迷惑だと指摘してくれた学生がいたので他の学生に迷惑にならないようにしてほしいと伝えた。	初年度ということもあり学校の授業時間がしっかりと分かっておらず、シラバスの中で施設見学を入れてしまったのは、不注意であった。授業の予習復習をしてくるような課題をもう少し出せばよかったと反省している。最初の授業できちんと学校のルールや授業のルールを説明してメリハリのあるものすればよかった。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	工藤真由美	2210202	日本語表現法	卒業必修科目であること。学生のほとんどが再履修者であること。以前の履修に比べてどのように理解が深まったかなどを知ることにより、再履修者の授業における態度や意識、学びの理解度などが総合的にどのように変化するのかを知り今後の指導に活かされれると思ったため。	ほとんどの学生からは授業の教室の空調管理について、授業の途中で空調が切れてしまう(16:00に切れてしまい教室が寒くなる)ことに対する不満があったため、あらかじめ事務に申し出て切れないように設定してもらうようにした。以後は不満は出なくなった。教室ごとに温度管理ができないのが北条学舎の難点である。	学生は再履修ながらこの授業に対して熱心に取り組み、季節柄途中で投げ出したくなるのを我慢してよく単位取得した。学習成績も、前回に比べて非常に高得点となり、再履修の甲斐があったと思う。予習復習もかれらなりにしっかりと取り組み、毎回の小テストでもその成果があらわれていた。再履修者も、学習の時期により自覚が芽生えて、真剣に取り組むことで本質的な理解に進むことができ、初回の履修時よりも大幅な伸びを示すことがわかった。今後の学生指導に活かしていきたい。
ラ	工藤真由美	2211201	教養の文学	選択科目、基礎科目で熱心な学生が多く、彼らの授業評価、満足度を知ることにより、授業改善に活かしたいと思ったために選んだ。	中間アンケートでは、満足である声ばかりで、改善につながるコメントがなかった。ゆえにそれだけにさらに満足度を上げようと授業に対して工夫した。(レジュメがわかりやすい、話し合いができるのが良い、感想を書く時間が適切などのコメント)	今回の受講者は人数は少なかったものの、非常に熱心で文学好きな学生が受講したため、授業の内容も、教養的な内容から一段深く掘り下げた内容にまで発展させて理解を問う問題を毎回補足したりした。それに対してより熱心に質問したりや与えた課題以上の作業を仕上げたりという学生ばかりで、クラス全体が相乗効果で伸びていった。学生同士の学び合いや発表もいい刺激となり、それが時間外学習の時間の長さや(1週間で3時間以上)、シラバス到達度の意識が80~100%以内に収まるなどに表れていると思う。今後、このような積極的な学生への働きかけの指導モデルとしたい。
ラ	榎原 和子	2240561	健康管理論	前年度は受講生がゼロで不開講になり、今年度の受講生が6名で初めての講義となった。教本は指定せず、資料配布のみで講義を進行したため、講義内容の感想や理解度について感想を聴きたかった。また、自らの健康管理にどの程度関心をもつことができるようになったかも知りたいかった。	前回の授業をまず初めに概括し、質問はその都度図解を活用し説明するなどの対応をとった。また、中間アンケートで時々早口になるとの指摘があったため、特に留意した。	欠席の多い学生が試験結果とも相関があり、1週間で予習復習などに割いた時間とも関連するのではないかと推測する。しかし、アンケート時にシラバスの到達目標を再確認したのちに回答するという方法をとれば、正確な回答につながったのではないかと考える。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	榑原 和子	2231011	介護概論	2018年度と大きく2点の変更を行った。①教法を指定せず、毎回資料を配布する。②板書を極力ひかえ、パワーポイントを活用。そこで、今年度の教授方法の効果を検証したくアンケート対象に選んだ。	中間アンケートでは、教室の環境(ゆとりのない広さ)について多くの意見があったが、変更可能な教室がなく現状維持となってしまった。また、説明が不充分になっていた点も考えられたため、中間以降は重要と考えたところは再三強調し、ゆっくりと授業展開をするようにした。	学生が授業の予習復習などに当てた時間は、1週間で30分未満が79%と大多数を占める結果となっている。これは、試験結果の不合格者数が1/4という現状からみても大変残念なことである。しかし、介護概論の教本を多角的に選定したり指定することによって、自己学習の時間を増やしたり介護に関心を持ってもらったのではないかと考える。今後は、その都度シラバスの到達目標を明確にした授業展開を心がけたい。
ラ	伊東めぐみ	2231221	医療関連用語	この科目を担当するのは今期で4回目となり、毎回講義内容については変更を加えて行ってきたが、その変更が学生の理解度向上やモチベーションUPに反映しているのかを探ってみたいという気持ちがあり選んだ。	中間アンケートで、「小テスト前の時間、周りに私語をしている学生がいて気になる」というコメントがあった。この授業では毎回小テストを行っており、テスト前に暗記する時間を一定時間設けているのだが、他の学生の私語で暗記に集中できないということだった。小テスト前の時間は講義をしていないので私語に対してそれほど厳しく注意していなかったのだが、以降は静かに暗記するよう指導し、改善した。この件を通じて、学生の側に立って考える必要性を感じることができた。	アンケートでどの程度シラバスの到達目標を達成できたかについては、A(90~100%)が最も多く、28名中11名だった。B(80~89%)が8名、C(70~79%)が7名という結果で、実際の授業評価は、秀が8名、優が8名、良が5名という結果であった。学生の意識実際の成績両方共について、シラバスの到達目標を達成している学生の割合は高いと考えられる。この結果については、授業内容の特性として、暗記する内容が非常に多く、一度に覚えることが難しいため毎回小テストを実施して少しずつ覚えていく形をとっている。この方法が功を奏していると考えられるので、引き続き次年度も小テストの実施は継続していきたいと考えている。
ラ	伊東めぐみ	2235011	医療事務のための医学知識 I	この科目を担当するのは今期で4回目となり、これまでも授業評価アンケートの対象に選んだことがあるが、内容的に授業スタイルが受動型になるため、学生がこの授業をどのように受けとめているか掴みにくい部分があり、学生の授業への印象を知っておきたいという思いがあり選んだ。	3限の授業で、昼食直後の時間に設定されているため、寝たくなくてもつい寝てしまうというコメントがあり、他の授業アンケートでもみられるコメントだが、この授業は内容的にも工夫が必要だと考え、対処した。対処法としては、基本的にスライドを見ながら説明を聞く形であるが、出来る限りイラスト文章ではなく「写真」に変更した。写真はイラストよりもリアル感があり、見ている人を引きつける要素があるので、説明に応じた写真を見せながら、口頭で説明するようにすると、以前より明らかに関心を持って聞けるようになった。	アンケートのシラバスの到達目標を達成についての回答は、A(90~100%)が24名中4名、B(80~89%)が8名、C(70~79%)が5名、D(60~69%)が6名という結果で、実際の授業評価は、秀が6名、優が11名、良が5名、可が5名という結果であった。凡そアンケートによる自己評価と実際の授業評価がリンクしている形となった。今後の課題としては、小テストのための勉強、定期試験に必要なノートの作成など、自宅ですべき作業が多い科目なので、出来ない学生は少数ではあるが非常に低い評価となる。そういった学生をどう持ち上げていくかを考えていきたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	中川 玲子	2240121	食の科学B	アクティブラーニングを実践している科目であり、学生の意見や要望を授業に取り入れ、より良い授業に工夫や改善を行うため。	中間アンケート実施のタイミングで、すでにアクティブラーニングを取り入れていた。中間アンケート結果から、さらに継続して行なうことにした。受講生全員が積極的に授業に参加していた。	全受講生の中の1名を除き、シラバスの到達目標達成状況は、ほぼ8割以上と高かった。この到達目標達成状況は、アンケート結果と実際の成績で、ほぼ一致していた。授業に積極的に参加することで、シラバスの到達目標達成度が高くなっていることが実感できた。
ラ	服部文彦	2260171	ビジネス総合演習	ビジネスエリアの総まとめの授業のため	学生の主体性に重点を置いて、実習を多く取り入れて社会人としての高度な状況に対応できる人材育成をするため	実施2年目でもあり、昨年度の内容を踏まえてさらに資格取得につなげていきたい。
ラ	服部文彦	2215011	卒業ゼミ(基礎)	初めてのゼミであり、今後の参考にしたいため	学生主体性や積極性、協調性に重点をおいて学生のコミュニケーション能力の向上できるようにした。	学生一人一人の個性と特性をいかした主体性積極性、協調性をさらに高める創意工夫をしていきたい。
ラ	安谷元伸	2255111	ウェブデザイン I	例年継続して授業評価を実施しているため。また、演習として比較的難しい実技内容も含むため、評価を通して授業改善を進めていきたいことからアンケートの対象といたしました。	中間アンケートで「改善してほしい点」が挙げられなかったため、後半も前半同様の進め方を維持した。結果、シラバス到達目標達成についても大半の学生が70%以上、80以上は全体の7割であった。一方で、どの項目でも1名ほどが否定的な回答を寄せていることから、その要因について今年度の内容を吟味して摸索していきたい。	シラバスの達成率には、A(90~100%)が8%、B(89%~80)が62%であったC(70~79%)が23%であった。一方、E(59%以下)が8%、学生数にして1名いた。その要因の確認は難しいと判断されるが、今年度の内容を振り返り検討していく。
ラ	安谷 元伸	2211502	情報倫理	例年継続して授業評価を実施しているため。また、演習を用いた講義内容として進めていることから、学生達の評価を確認し、授業改善を進めさらなる内容の充実を図りたいと考え、アンケートの対象といたしました。	中間アンケートで「改善してほしい点」が挙げられなかったため、後半も前半同様の学生の主体性を意識した授業実践を進めた。ただ、この授業の予習復習等にあてた時間については、30分から1時間との学生が少なく、その点に課題があるものと考えられるため、さらなる工夫に取り組みたい。	シラバスの達成率については、A(90~100%)が14%、B(80%~89)で43%、C(70~79%)で14%、D(60~69%)で14%、E(59%以下)で14%であった。70%以上の回答に至らなかった3名の学生について、低い学習意欲などの関連性も考えられるものの、最終的にはシラバスを達成したと感じられるよう意識を向上させるための学修方法を摸索していきたい。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	金川朋子	2212211	日本国憲法と人権	本科目 ライフデザイン総合学科での担当した科目であったため。	履修人数が2名であり、第1～5回は、1名が欠席していたこともあり学生とのディスカッションを組み入れながら実施した。学生の状況に合わせ、意見を交換しながら、また話し合いを教員も一緒に入り、討議を進めた。	まじめにしっかりと、学習に取り組んでいる姿を確認できた。日本国憲法や人権について、考える機会を与えることができたと思う。
ラ	末福美恵子	2234021	医師事務作業補助実務演習	現在医療現場は、医師事務補助の募集が多い。医師事務補助として将来活躍してほしいと願って講義を行った。	1つのカルテを基に各種書類作成の講義を行った。解答は板書し、一つ一つコメントを添えて講義した。	授業中も皆さん熱心であった。基礎的な事は講義できた。元勤務先の「りんくう総合医療センター」においても医師事務補助の全員に定期的に講義を行っていた。生徒さんは素直で医師事務補助に向いている方が多いと思った。講義の内容を少しでも頭に残し将来活躍してほしいと願っている。
ラ	末福美恵子	2232221	ICDコーディング演習Ⅱ	医療の現場で使用されているICD10であるが、授業で使用するテキストは改訂前のものであり、解答も一部コードが異なっており、コード記載手順もアメリカ方式と定めており、医療現場では通用しないものもあった。生徒には、異なるコード、記載の際には、その都度説明を行った。(2022年にはICD11となる)	基礎医学を習得されていないので、出来る限りパワーポイントや板書に図式で補足説明を加えながら授業を進めた。	クリニカルコーディングの資格試験結果において9名中8人89%合格出来た。
ラ	橋尾 晋平	221813	社会人の英会話	2019年度後期の担当クラスは当クラスのみです。	中間アンケートの段階では特に大きな問題点がなかったため、特に改善工夫したことはございません。当科目における学習上の学生の質問や相談についてはその都度対応いたしました。	シラバスの到達目標の達成状況は非常によいと考えます。学生自身は厳しい自己評価をされているようですが、今後は自信をもって達成できたことを実感してもらえるように改善工夫していきたいと存じます。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	鶴田美香	2224021	色彩の基礎Ⅱ	色彩の基本理解を促し、活用していくための知識の土台となる授業であるため。	声をかけるのに抵抗がない子にはより具体的に詳細な説明を行いました。教員に声をかけることに抵抗がある生徒にはこちらから歩み寄り、不明点などがなければ積極的にコミュニケーションを取りました。	概ね、到達目標はクリアされていた。授業時間はじめに復習、回折、具体的なワークの解き方の指示を行うことで、ワーク導入がスムーズに行えた。生徒の席をまわること理解の進捗度合いが把握でき、時間がかかりそうな生徒への対処を行うことができました。
ラ	鶴田美香	2224131	カラーセラピー	色彩の基礎知識と心理学を組み合わせ、より日常での活用を期待した授業であったため。知識だけにとどまらず、自らの言葉に置き換えて表現することを目標としました。	板書、聞き取りに力を入れ、まずは記憶の定着化を行いました。自分の言葉におきかえる難しさがあった。学んだことを言葉に置き換える練習回数を増やしました。	学んだことの理解は出来ていたが表現することの難しさが残りました。授業中盤から記述回数を増やしてきたが、はじめから記述回数を増やし訓練を重ねたい。自分の記述内容の発表に抵抗があるため、まずは自由に評価にとらわれない表現が行えるようなワークを取り入れていく。
ラ	林 真千子	2240131	食品・食材の知識A	前期では保育学科の授業に対するアンケートを実施しましたので、今期はライフデザイン総合学科の授業を対象と致しました。	中間アンケートにおいて、配布プリントの書き込み欄を大きくして欲しいとの要望がありましたので、書き込み欄拡大と共に授業内容を記入出来る空白の確保などプリントの改善に努めました。	学生からは、中間アンケートで改善した点について高い評価を得られたことと、シラバスの到達目標が8割以上達成できたという評価を頂き嬉しく思います。今後の課題として、グループワークや課題の発表など積極的な授業参加を促す工夫に努めたいと思います。
ラ	平田孝	2240031	食の歴史と文化	担当科目は1科目のみのためです。	中間アンケートでは「わかりやすい」、「新しい知識が身につく、さらに詳しく知りたくなって自宅で勉強している」などのプラス評価があったが、「私語がうるさい」という指摘が複数あった。私語をやめるように注意を繰り返したが、効果は限定的だった。	授業に前向きな一部の学生の試験結果は良好であったことから、シラバス内容は一通り紹介できたと判断している。しかし、卒業のための単位取得だけが目的の学生も多く、それらの学生の成長に寄与できたかは疑問である。
ラ	兵頭真由美	2260261	ビジネス文書	今年度新たに担当した科目のクラスを対象に選びました。	演習問題の解説回答をより丁寧に実施しました。	おおむね達成できたと考えます。今後、さらに学生の皆さんが積極的に授業参加できる工夫を検討して参ります。

	教員氏名	授業コード	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	藤堂 隆司	2232311	診療情報管理論A	演習の比べて、座学の方が評価が低いので、改善点を把握するために選択した。	中間アンケートの学生の意見の中では、少しスライドの見やすさ、スピードが早いことがあったので、その点について特に意識して改善するよう心がけた。学生の評価も、反映されていたと思う。	今年度は、前任者のシラバスをほぼ引用した部分が多かったので、終わってみて、学生の評価にも反映しているように、シラバス通りにあまり進めることができなかったことは大いに反省すべき点であったと感じる。次年度は、自分なりのシラバスを作成し、それに基づいた授業の進行ができると思う。
ラ	森田浩司	2253101	マルチメディア論	2科目ともアンケート取りました。	進むスピードをゆっくりにしました。QRコードのリンクなどを交えてスマホなどで手軽に授業参加、復習できるようにしました。	学生は7,8割理解できたとしているが、テストの結果からは6割程度だったと思える。もう少し理解が固まるような繰り返しや体験をした方がよかったのかもしれない。
ラ	森田浩司	2253122	マルチメディア演習	2科目ともとっている。	内容に時間をかけるようにした。例題の説明に時間をかけた。	回答した全員が7割以上の理解を得たと答えた。世の中のものの成り立ちを考えるきっかけにはなったかと思う。

